

令和2年2月3日（月）発行

道建協とうほく

No.68

発行 一般社団法人 日本道路建設業協会
東北支部 広報委員会



山形県 馬見ヶ崎川上流景勝の地にあり、平安時代に京都一条殿の豊丸姫が清水親善の告げで弘法大師作の観音像を安置したのがはじめといわれ、荘厳なる懸崖作りは京都の清水寺を模した観音堂で朱塗りの堂が山肌こそびえ立つ。昭和51年復元。張り出した室内からは遠く蔵王連峰の山並みが一望できる。

【山形唐松観音堂】

目次

年頭挨拶	-----	1
I. 行事報告	-----	2
II. 対外活動	-----	3
III. 幹事会・委員会活動	-----	3
IV. アスファルト混合物事前審査	-----	4
V. 本部主催行事	-----	5
VI. 随想	-----	6
VII. 会員だより	-----	7
VIII. 編集後記	-----	10

年 頭 挨拶



『災害に対する危機管理の強化と働き方改革醸成の年』

東北支部長
(鹿島道路㈱ 専務執行役員支店長)
田 祐 久

新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆さまにおかれましては、常日頃より道建協の活動にご理解ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

東日本大震災からすでに9年がたち、復興道路や復興支援道路の建設工事も終息を迎えようとしておりますが、昨年は、宮城県の丸森町をはじめ全国各地で大雨洪水土砂災害が頻発した1年であり、一昨年に引き続き大自然の驚異と水害の恐ろしさを思い知らされた年でありました。

これに対して政府は、全国で頻発、激甚化している自然災害からの復旧・復興を経済対策の3本柱の1つに据えており、来年の台風シーズンに備え、補正予算で防災・減災、国土強靱化の取り組みをさらに強化することを位置づけ、財政支出は3年ぶりの1兆3千200億程度になると発表いたしました。

道路業界としても、インフラとしての道路整備を通じ、災害からの復旧・復興と国民生活の安全・安心の確保と、国土強靱化の一端を担う重大な社会的使命を果たさなければなりません。

しかし、道路業界としては、依然としてローカル資材や労働力・担い手の不足改善に向けた努力は業界を挙げて行っているものの、一向に改善の方向には進んでいないのが現状であり、早期の復旧・復興を推進していくことがこの業界に求められている事と深く認識し、使命感を持って種々の問題に取り組んでいくことが急務となっております。

そのためにも、業界にとっても重要な課題となっている、働き方改革による休日取得の推進、待遇改善や労働環境の改善を推進し、i-Constructionの更なる推進により、生産性の向上、労働時間の短縮で、若者が魅力を持つ様な未来ある業界となるよう、積極的に推進していかなければなりません。

日本国民全員が、安全で安心して暮らせる社会の構築に寄与できるような業界となり、今年いよいよ開催される東京五輪や今後の大阪万博、インフラの老朽化対策など業界にとって追い風となり、景気が上向きに推移すると期待し、業界全体が健全な発展を出来るよう鋭意努力をしていかなければならないと考えております。

支部会員各社の皆様方と共に結束力をもって取り組んでいく所存でおりますので、本年も変わらぬご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後に、会員各社皆様の今後益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げまして新年の挨拶とさせていただきます。

I. 行事報告 (R1/12/2～)

1. コンプライアンス講習会『暴力団排除』

日 時：令和元年12月9日（月）
場 所：宮城県建設産業会館
講 師：宮城県警察本部 刑事部 組織犯罪対策局
暴力団対策課 瀧浦 浩 課長補佐
佐藤 元洋 暴力団排除係長
聴講者：支部会員19社、70名



田支部長はあいさつで「法令遵守の徹底は、法律や条令の遵守だけではなく、企業倫理についても社内規定を定め、企業のリスク回避に取り組んでいる。企業の経営力は社員一人ひとりのコンプライアンス意識の強さと知識によるものが大きい。一層のコンプライアンスの向上に取り組んでほしい」と呼びかけました。

講師には、宮城県警察本部の瀧浦暴力団対策課長補佐と佐藤暴力団排除係長をお招きし、「暴力団排除について」と題して暴力団排除に関する現況や公共事業とのさまざまな関わりについて講演をいただきました。

3. 11以降大規模な公共事業が行われているなかで、つい最近も大規模災害が発生し今後の復旧事業が予想されることからそこを狙われることのないように施工業者としての毅然な対応が求められます。

各企業に求められる意識改革と責任、法令遵守の徹底を訴えられました。

聴講者は、コンプライアンスの重要性を改めて認識する契機となったことと思います。

2. 令和2年 安全祈願

日 時：令和2年1月15日（水）
場 所：櫻岡大神宮
出席者：田支部長、齊藤幹事長、有路安全環境委員長、田中安全環境副委員長、安全環境委員ほか 17名



(建設通信新聞社提供)

Ⅱ 対 外 活 動

(R1/12/2～)

1. 東北地方整備局関係

【東北地方建設副産物対策連絡協議会 作業部会】

開催日：令和元年12月20日（金）

場 所：東北地方整備局

出席者：事務局長

議 事：①平成30年度建設副産物実態調査の結果について
②次期「東北地方における建設リサイクル推進計画」について
③その他

【年始あいさつ】

実施日：令和2年1月6日（月）

場 所：東北地方整備局

相手方：局長、副局長、総務部長、企画部長、道路部長外

出席者：田支部長、齊藤幹事長外

【東北土木技術人材育成協議会WG】

開催日：令和2年1月21日（火）

場 所：東北地方整備局

出席者：事務局長

議 事：①令和元年度実施結果報告について
②次年度実施計画（案）について
③その他

2. 後援行事等

【令和2年警備業新春賀詞交歓会（宮城県警備業協会主催）】

開催日：令和2年1月23日（木）

場 所：パレス平安

出席者：齋藤幹事長

Ⅲ 幹 事 会 ・ 委 員 会 活 動

(R1/12/2～)

1. 幹 事 会

【第5回】

開催日：令和2年1月15日（水）

出席者：田支部長、齊藤幹事長、幹事11名

（安孫子、佐藤、有路、仲村、梅野代、大泉、下菊、小野代、佐々木、
西山代、田中）

議 事：①活動の概況について（11/20～）
②支部長・幹事長会議について（報告）
③令和2年度支部予算（案）について
④女性職員の状況調査について
⑤道路協会及び本部功労者表彰の推薦について
⑥セメントコンクリート舗装技術検討会について
⑦台風19号による災害応急対策について

2. 安全環境委員会

【WG】

開催日：令和元年12月23日（月）

出席者：有路委員長、田中副委員長、委員3名（藤原、高橋（克）、国塚）

議 事：①安全環境パトロールの基準見直しについて

②その他

【第5回】

開催日：令和2年1月15日（水）

出席者：有路委員長、田中副委員長、委員12名

（藤原、下屋敷、柘植、高橋（克）、石頭、細川、高橋（隆）、国塚、小畑、酒井、渡邊、北原代）

議 事：①安全環境パトロール結果・推薦準備について

②次年度の安全環境講習会について

③その他

IV アスファルト混合物事前審査

(R1/12/2～)

アスファルト混合物事前審査制度における審査機関として、東北地方整備局から平成23年4月1日に指定され、指定期間は令和3年3月31日までです。

【第92回アスファルト混合物事前審査委員会】

開催日：令和元年12月19日（木）

場 所：ハーネル仙台

出席者：田支部長、企画調査課長

申請のあった31混合所586混合物の審査を行い全ての混合物を認定。

また、立入調査を実施した26混合所の結果を報告。



【第83回立会審査・立入調査】

期 間：自 令和元年1月16日（木）

至 令和元年2月7日（金）

混合所：立会審査：22混合所

立入調査：18混合所

V 本部主催行事

(R1/12/2～)

【支部長・幹事長会議】

開催日：令和元年12月6日（金）

場 所：本部（東京建設会館）

出席者：田支部長、齋藤幹事長

- 議 事：①コンプライアンス講習会の実施状況について
②社会貢献活動の実施状況について
③i-Pavement 推進本部の活動について
④建設分野における特定技能外国人の受入に関するアンケート調査
報告書について
⑤その他

【事務局長会議】

開催日：令和2年1月24日（金）

場 所：本部（東京建設会館）

出席者：事務局長

- 議 事：①社会貢献活動について
②コンプライアンス講習会の実施状況について
③建設分野における特定技能外国人の受入に関するアンケート調査
報告書について
④令和2年度事業計画及び予算並びに令和元年度決算について
⑤i-Pavement 推進本部の活動について
⑥H30年度ICT舗装工の施工事例集について
⑦電線共同溝整備マニュアル改定に関する講習会開催について
⑧令和2年度舗装技術者資格試験の受験申込の開始について
⑨その他

随 想

「東北の復興繁栄」



公共工事委員長
大林道路株式会社 東北支店
執行役員支店長 安孫子 敬美

新年を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

昨年は震災復興を皆様と共に尽力しあともう少して終息を迎えようとしていた最中に、台風による甚大な被害をうけました。

被災された方々には心からお見舞い申し上げますと共に、復興に尽力されている皆様には安全に留意されご活躍されることを心よりお祈り申し上げます。

さて、東北には良いところが沢山あります。私は、週末には登山や神社仏閣巡りなどをした後、温泉に入りその地の美味しい肴とお酒を楽しむようにしております。

福島では花見山、安達太良山を登山しての高湯温泉、山形では蔵王に登山して御釜をみて百目鬼温泉、宮城では出島まわりでカヤックをした後に女川温泉、岩手では栗駒山に登って須川高原温泉、青森では弘前城公園の花筏やねぷた祭りや八甲田山に登っての酸々湯温泉、また、日本唯一？の階段国道 339 号を確認してから不老不死温泉での夕陽を見てきました。秋田では、大曲の花火に感動し、八幡平を散策してから酸々湯温泉等に行くなど約 3 年間で東北各地をまわることができましたが、まだまだ沢山良いところがありますので可能な限り出向きたいと考えています。

いよいよ、3月初旬には双葉町、大熊町、富岡町等の避難指示が一部解除され、JR 常磐線も全線開通されます。

末筆ながら、これからも皆様と東北の復興に尽力すると共に、全国から多くの人々にこの素晴らしい東北を何度も訪ねてもらい、さらに活力のある東北に繁栄していくことをお祈り申し上げます。

会員だより

宮城の「さかな」はうまい!!

北川ヒューテック株式会社 東北支店
東北支店長 寺島 幹太郎

まずは筆不精につき、お読みにくい点が多々あるかと思いますがご了承ください。弊社東北支店は仙台市宮城野区扇町にあり、国道45号より1筋入った場所にあります。小人数の支店ですが、駐車場は十分にありますので近くを通りかかった際にはお気軽に訪ねてください。

最初に我社の社長についてご紹介いたします。野球好きの方ならご存知の方もいらっしゃると思いますが、我社の社長は元巨人、大リーグのレッドソックス、レンジャーズ等で活躍した、上原選手の実兄であります。このことは東北支店に来春入社の新入社員が野球部出身のため大いに強みになりました。



【大リーグに応援に行った時の社長】

次に私事で恐縮ですが、弊社決算が5月のため、2015年の6月に東北支店に配属となり、今年5月で早くも丸5年が経とうとしています。出身地は大阪で趣味は魚釣りですが、大阪では琵琶湖のブラックバスばかり釣っていました。仙台に来てからはせつかく三陸の美味しい魚がたくさんいるので、海釣りに転向し、おのずと釣った魚を自分でさばくようになりました。趣味が高じて料理のレベルも上がり、今では他の社員を釣りに引き込んだり、社員寮で料理と、釣果自慢をさかなに、お酒の量も、腹回りも、どんどん成長しています。ちなみに新入社員が支店にもう一人入社しますが、父親が漁師さんで面接時に私が釣り好きをアピールしたのが、強みになってくれたのかは、定かではありません。入社後それとなく聞いてみます。以上、社長自慢や、趣味のことばかりになってしまいましたが、会員の方で野球や魚釣りに興味がある方はご遠慮なく話しかけてくだされば幸いです。最後まで読んでくださりありがとうございました。



【仙台湾で釣った6.4kgの真鯛】



【自分でさばいた刺身など】

会員だより

「おかげさまで百周年」

堀江工業株式会社
総務部 鈴木 英長

復興五輪と位置づけられた東京オリンピック・パラリンピックが間もなく開催されようとしている年の、更には我が国の新しい出発となった「令和」初の新春とともに、「堀江工業株式会社」は会社設立百周年の節目の年を迎える事となりました。

弊社は明治二十九年一月、個人経営により「堀江組」として創業され、大正九年一月五日「堀江工業株式会社」に改組し、以来戦争や震災はもとより、政治経済のあらゆる局面で激動と変革の荒波にもまれながら、幾多の試練を乗り越え今日を迎えたのであります。

創業当時は、旧鉄道省からの軌道施設を主に事業を展開し、東日本一円にその足跡を残しながら、更はその歩みは国内各所はもとより中国や台湾などの海外にも進出し、事業を展開しておりましたが、技術と経験の蓄積と共に、誰もが躊躇してやらない難工事の依頼を県内各所から受け、次々と完成させることで「信用」が生まれ、以来地域の発展に寄与することを第一として歩みを進めて参りました。

今なお「信用は無限の資本なり」の社是のもと、更なる地域社会の生活環境の向上に貢献すべく、日々努力を重ねております。特に未曾有の東日本大震災を経験し、建設業が担わなければならない重責を痛感しつつ、郷土の復旧・復興のため全社一丸となって取り組んで参りました。

これからも地域の皆様から信頼される会社構築に努め、次世代育成支援企業や女性活躍推進企業など、認証企業の名に恥じぬよう働きやすい職場環境づくりと若手社員の育成に努めて参りたいと思っております。

例年会社設立記念日の一月五日に、曜日に関係なく協力会社や関係の皆様方の出席を頂き新年祝賀会を開催しておりますが、今年は百周年記念祝賀会と併せ一月五日に開催されましたが、予定の時間を大幅に延長し盛会のうちに終える事が出来ました。

社長の挨拶にもありましたが「これまでの皆様方の御厚誼に心から感謝申し上げ、次の百年に向け力強く歩みを進めたい」と思っております。今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



令和2年度 安全環境講習会

開催日時が決定いたしました！

令和2年7月10日（金）13:00～17:00

【宮城県建設産業会館 1階大会議室】

*受講料 3000円（税込）

*この講習会は（一社）全国土木施工管理技士会連合会 CPDS 認定プログラムです
（4ユニットの予定）



- 例年、安全環境講習会では東北地方整備局や宮城労働局等各方面から講師を招き、労働災害の防止や産廃・環境、安衛活動に向けた講演をしております。
- 安全環境パトロールで優良工事として表彰された支部会員会社の現場担当者による安全対策事例報告など、日々の安全衛生活動のレベルアップに役立つ内容となっております。

詳細につきましては、令和2年5月以降決定次第お知らせいたします



一般社団法人日本道路建設業協会 東北支部 安全環境委員会

980-0824 宮城県仙台市青葉区支倉町 4-34 マルキンビル 3F

TEL022-264-1819 FAX022-216-9333 E-mail : tohoku-jrca@helen.ocn.ne.jp

編集後記

中津 潤（前田道路株式会社東北支店）
泉山 匠（株式会社 NIPPO 東北支店）

「道建協とうほく NO68」の発刊に際し大変お忙しい中、ご寄稿いただきました。いへんありがとうございます。

本号が発刊されるのは令和に入りはやくも第2回目となります。季節はもはや“春”です。二十四節気の立春になります。あらためて調べてみますと、冬が極まり春の気配が立ち始める日で九州など暖かい地方では梅が咲き始めるころですが、ここ東北の地は寒気や荒天のピークとなるころです。文字通り春が立つという意味で、立春を迎えたころから気温の底を過ぎ、徐々に春めいた気温・天気が変わってくるのだそうです。

ですから立春なのに寒いというのは正確にいうと間違いです。いずれにせよ暖かくなっていくのは間違いないのでこれからの季節が楽しみです。

私事になりますが、仙台に転勤になって6年になります。町をあるいていると、いろんなどころに町名が書いてある小さい碑が建っています。よくみると歴史的町名活用路線と刻んであります。なんでも市内に77本あるそうです。最近では写真におさめて楽しんでいます。いつの日か全町名を集めるのを目標に散策しています。新しい町名を発見したときは、うれしくなってきます。皆さんも興味がありましたら、探してみてください。



この時期になるとよく思い出す事件があります。会社の歓送迎会でしこたま飲んでしまいました。どうやって帰ってきたかもわからないほど飲んだようですが、家に着くなりすぐに眠りにつきました。砂漠の真ん中で灼熱の太陽に照らされて歩いていると目の前に自販機があり、ボタンを押したら暖かいコーヒーが出てきた夢で目を覚まし、喉がからからで冷蔵庫をあけてみるとコーラがあったので一気に飲んだら、なんと“めんつゆ”だったのです。皆様におかれましては、くれぐれもこのようなことのないように歓送迎会を乗り切ってください。

今後とも「道建協とうほく」のご愛読、ご寄稿よろしく申し上げます。